

なみえの未来をともにつくります

 なみえ

議会だより

2008.5.1

No. 120



3月定例会

3月定例議会	P 2 ~ 8
一般質問 10人が登壇	P 9 ~ 14
特集シリーズ(警察署再編)	P15
追跡どうなった?(町村合併)	P16
委員会活動報告	P17

平成20年度

予算総額120億円を議決

◇ 要 旨 ◇

- 平成20年第1回浪江町議会定例会が3月6日から19日までの14日間の会期で開催され、一般質問は10人が登壇して活発な質疑が交わされました。
- 今議会に提案された議案は、町道路線の認定及び廃止、町後期高齢者医療に関する条例の制定、平成20年度浪江町一般会計予算など46の議案、議員発議による意見書9件が提案されましたが、議案第39号平成20年度町後期高齢者医療特別会計予算は否決、議案第44号教育委員会委員の任命は不同意、それ以外については原案どおり可決しました。
- 請願・陳情では、請願書3件（採択）・陳情書3件（採択）を審議しました。

一般会計 **69億8400万円** **13%増**

地方交付税 **23億200万円** **25%増**



オーストラリアからの英語指導助手（写真の中央）

条例制定

地方公務員法の規定に基き、人事行政の運営等の状況の公表に関し必要な事項を定める条例を制定するものです。

質問

任命権者は誰か、又職員の服務状況、職員の研修及び勤務成績の評価基準は何か。県の人事委員会との関係は。

総務課長

任命権者ですが、町部局は町長、教育委員会部局は教育委員会、議会事務局は議長、農業委員会事務局は農業委員会です。勤務成績の評定は現在研究段階ではありますが、分限・懲戒・服務・研修・勤務成績の評定、並びに福祉及び利益の保護と人事養成の運営の状況を報告し公表する条例の制定です。

地方公務員法の改正に伴い、職員の自己啓発等休業の取り扱いについて条例を制定するものです。

質問

国際協力機構が

行う国際貢献活動で人道支援の名のもとで軍事関連の参加も自己啓発休業ととれないか。

町長

国際協力機構ですが、海外派遣協力隊として国際貢献するための人的配置あるいは技術等の習得そして教育を目的とした奉仕活動であります。

○一般職の任期付職員

の採用等に関する条例の制定について
津島診療所の医師を任期付で採用する条例を制定するものです。

○浪江町後期高齢者医療

に関する条例の制定について
後期高齢者医療制度が平成20年4月1日より施行されるにあたり、浪江町が行う事務を規定するためのものです。



新たな管理が求められる駅東駐車場

条例改正

国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律の改正に準じて、選挙長等の報酬を改正するものです。

質問

費用弁償の引き下げの根拠になる中身は。

総務課長

公務員給与の改正状況や諸物価の変動等による執行経費の引き下げによる一部改正であります。

浪江駅駐車場等の管理について、指定管理者に委託するため改正するものです。

質問

町の駐車場を有料化にし指定管理者に任せるとあるが、どの駐車場か。

総務課長

駅東駐車場です。この条例の本来の目的は駅及び駅周辺の利用のために駐車することを目的としているが、定期的に利用される方から使用料を徴集する一方で一時利用者の利便性と公平性を図ることです。

町長給料の50%カット、副町長・教育長は30%カット

平成20年4月1日から1年間、町長の給料を50%、副町長及び教育長の給料を30%減額する。条例は1年間の時限条例となっているが、町長の任期中は特例期間を更新して減額する予定となっています。

○浪江町要介護高齢者

介護手当支給条例の一部改正について
要介護高齢者介護手当の支給対象を要介護4以上の在宅の高齢者の介護を行っている家族とするための改正です。

一般会計

Q 借金返済の計画は

A 現在確定した計画で新たなものはみておりません

質問 28年度までの財政計画について、地方債残高(町の借金、債務負担行為(大柿ダムの返済)を確実に減らしてゆくと計画ですが、実際にできるのか。

質問 何のための計画か。

総務課長 返済の確定したものを把握し、お知らせすることが一番で、その上で今後の計画を立ててゆくものと思っています。

総務課長 返済の確定したものを把握し、お知らせすることが一番で、その上で今後の計画を立ててゆくものと思っています。

総務課長 20年当初まで借り入れたものの返済計画で、新たな借入は見込んでおりません。

Q 町営バスの運行計画は

A 川俣町と協議して進めます

質問 町営バス運行負担金(コスモス号)について、問屋前まで来ていたJRバスが運行停止となりますが、川俣町との協議でその後どうなったか。

住民生活課長 川俣町分、水境物場前から問屋前・川俣高校前まで川俣町営バスで運行しJRバスに引き継がれます。

質問 町営バスの負担が少なくなった分、羽附までの地域をカバーし、二本松地方路線バス負担金358万7千円を検討できないか。

企画調整課長 今後さらに川俣町と協議してまいります。



老朽化が進む津島保育所

Q 津島保育所の用地選定は

A 活性化センター近辺にまとめる計画です

質問 津島保育所用地購入800万円、造成工事800万円について、公民館跡地など既存の公共物の利用など財政改革の点で検討したのか。

子育て・健康増進課長 検討しましたが、活性化センター近辺に公共施設をまとめる計画でしたので、予算を計上しました。

Q 少子化に伴う幼児教育の将来ビジョンは

A 町全体の幼児教育ビジョンをつくります

質問 少子化で町立幼稚園の現状はどのようなになっているか。

教育総務課長 20年度入園児数は、大堀が6名・荻野が9名です。全園児数は大堀が20名・荻野が27名です。

教育長 大堀と荻野だけに幼稚園があり、地元の住人しか入れない等様々な問題があります。

とりあえずは縮小を踏まえた現状維持で、1年間かけて浪江町全体の幼児教育の将来ビジョンをつくってゆく考えです。

特別会計

バランスのとれた下水道事業の経営を

質問 下水道事業の経営改善打開等と事業費の削減をどのように検討しているか。

上下水道課長 当年度の償還元金以上の借入をしないこと、接続率の向上を図ります。認可内の積み残し分を規模を縮小しながら、細く長く事業を継続していきます。



求められる財政のバランスを考えた下水道の取り組み

補正予算

委託業務・職員でできることは職員で

質問 特殊建築物等（役場庁舎）定期報告業務委託の金額と資格のある職員で行うことができなにか。

総務課長 17.1万円程掛かっています。職員でできる内容であれば研究します。

同意した 人事案件

空席の副町長決まる。行政手腕を期待

欠員となっていた副町長に上野晋平さん（立野）を選任することに、地方自治法第162条の規定に基づ

き同意しました。

※無記名投票による結果

投票総数18票、

賛成16票・反対2票

○教育委員会委員の任命について

1、欠員となっていた委員

に稲田定重さん（榎渡）

を選任することに、不同意としました。

※無記名投票による結果

投票総数18票、

賛成9票・反対9票、

可否同数のため否決

2、補欠の委員に大越たか

子さん（酒田）を選任する

ことに、同意しました。

※無記名投票による結果

投票総数18票、

賛成12票・反対6票

○津島財産区管理委員会

員の選任について

紺野満さん（南津島）の

選任に同意しました。

自治功労表彰 佐々木英夫議員

永年（15年以上在職）町
村議会議員として、地方自治の振興発展に寄与された功績により、佐々木英夫議員が全国町村議会議長会から表彰され、3月6日に開催された第1回定例会冒頭に議長から伝達されました。



皆さんから提出された 請願・陳情

〔採択された請願〕

○後期高齢者医療制度の中止・撤回に関する請願

〔請願者〕
福島県民主医療機関連合
会長 松本 純
相双民主商工会
会長 紺野 重秋

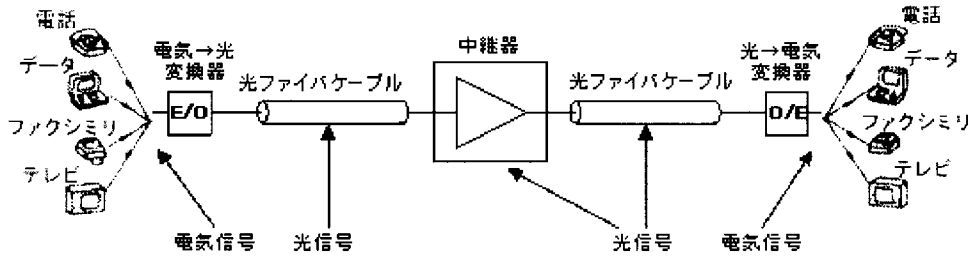
○保険業法の制度と運用を見直し自主的な団体を共済の保険業法の適用除外を求める請願書

〔請願者〕
共済の今日と未来を考えるふくしま懇話会
代表委員 七海 実

○津島地区への光ファイバー通信ケーブルの早期整備をお願いいたします

〔請願者〕
津島行政区
区長 高橋 美雄

浪江町商工会青年部津島支部長 今野 秀一



請願された光ファイバー通信システムの基本構造

〔採択された陳情〕

○福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の陳情について

〔請願者〕
日本労働組合総連合会福島県連合会双葉地区連合会
議長 木田 正一

○自主共済制度の保険業法の適用除外を求める意見書提出の陳情について

〔請願者〕
日本労働組合総連合会福島県連合会双葉地区連合会
議長 木田 正一

○原爆症認定制度の抜本的改善を厚生労働省に求める意見書に関する陳情

〔請願者〕
福島県原爆被害者協議会
会長 山田 舜

議員発議の意見書

○子どもの権利条例の制定を求める意見書

〔提出先〕
浪江町長

○ハローワーク浪江出張所の廃止計画の撤回を求める意見書

〔提出先〕
福島労働局長

○相双保健福祉事務所浪江支所の恒久的存続を求める意見書

〔提出先〕
福島県知事

○後期高齢者医療制度の中止・撤回を求める意見書

〔提出先〕
衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
厚生労働大臣

○原爆症認定制度の抜本的改善を厚生労働省に求める意見書

〔提出先〕
厚生労働大臣

○保険業法の制度と運用を見直し自主的な団体を共済の保険業法の適用除外を求める意見書

〔提出先〕
内閣総理大臣
内閣府特命担当大臣
金融庁長官

○福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書

〔提出先〕
福島労働局長

○自主共済制度の保険業法の適用除外を求める意見書

〔提出先〕
内閣総理大臣
内閣府特命大臣(金融)
金融庁長官

○道路財源の安定的な確保に関する意見書

〔提出先〕
衆議院議長
参議院議長



存続が求められる
相双保健福祉事務所浪江支所

議員発議 の動議

議員日当 廃止

本会議又は委員会に出席したときの、日額500円の費用弁償を廃止するものです。

政務調査費 の凍結

調査研究に資する月額5000円の政務調査費を、平成20年4月1日から平成21年3月31日までの間は支払わないとするものです。

後期高齢者医療特別会計を考える

戸惑い広がる「後期高齢者医療制度」



(福島民友新聞)

「天引き」批判

七十五歳以上を対象に今月スタートした後期高齢者医療制度（長寿高齢者制度）で、十五日には保険料が初めて年金から天引きされる。周知不足でお年寄りに戸惑いが広がるなか、各地で新たな保険証の未着などのトラブルも起きている。野党各党は、制度撤廃を求め政府、与党を痛烈に批判。昨年来の年金不信に加え医療制度をめぐる高齢者の反発が、福田政権を直撃している。【一面に本記】

周知不足が

定例議会

平成20年度浪江町後期高齢者医療特別会計予算を否決

高齢者の医療の確保に関する法律に基づく改定（法令で定める特別会計）ではありませんが、75歳以上の方々にはまだまだ理解不足があり、町内3138人の内、年金額18万円以上の人は年金より天引き徴収（特別徴収）され、以下の人は現金徴収（普通徴収）されるものです。議会は関係機関に対し、本医療制度の中止・撤回の意見書を提出しました。また議論の末、強制的な保険加入は差別医療にも繋がるとして賛成少数で否決されました。

3月25日 臨時議会

町長に「浪江町後期高齢者医療制度の運営改善に関する意見書」を提出し、全会一致で可決

4月1日から施行される医療制度の予算を成立させないと後期高齢者と、携わる町民の方々に迷惑・負担が掛かることを懸念。

平成20年度浪江町後期高齢者医療特別会計予算

平成20年度の予算を、歳入歳出それぞれ1億9166万円と定めるものです。（全会一致で可決）

意見書

浪江町後期高齢者医療制度の運営改善に関する意見書

高齢者が生きがいを持ち安心・安全に暮らすことができるように、次の3項目について町長に提出するものです。

- 1、低所得者の負担軽減に配慮した運営を行うこと。
- 2、被保険者証について、低所得者の受診機会を損なわないよう継続発行に努めること。
- 3、基本健診を継続すること。（全会一致で可決）

第1回 定例会の採決状況

議案番号	件名	摘要
議案第1号	平成19年度浪江町一般会計補正予算(第4号)	原案可決
議案第2号	浪江町道路線の認定及び廃止について	原案可決
議案第3号	福島県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	原案可決
議案第4号	浪江町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の制定について	原案可決
議案第5号	一般職の任期付職員の採用等に関する条例の制定について	原案可決
議案第6号	職員の自己啓発等休業に関する条例の制定について	原案可決
議案第7号	職員の修学部分休業及び高齢者部分休業に関する条例の制定について	原案可決
議案第8号	浪江町後期高齢者医療に関する条例の制定について	原案可決
議案第9号	職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第10号	職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第11号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第12号	特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第13号	浪江町駐車場等の設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第14号	浪江町税特別措置条例の一部改正について	原案可決
議案第15号	浪江町要介護高齢者介護手当支給条例の一部改正について	原案可決
議案第16号	浪江町重度心身障害者医療費の給付に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第17号	浪江町重度心身障害児福祉年金支給条例の一部改正について	原案可決

議案番号	件名	摘要
議案第18号	浪江町ひとり親家庭医療費の助成に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第19号	浪江町国民健康保険条例の一部改正について	原案可決
議案第20号	浪江町国民健康保険条例の一部改正について	原案可決
議案第21号	平成19年度浪江町一般会計補正予算(第5号)	原案可決
議案第22号	町長等の給与の特例に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第23号	平成19年度浪江町国民健康保険直営診療施設事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第24号	平成19年度浪江町老人保健特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第25号	平成19年度浪江町公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第26号	平成19年度浪江町農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第27号	平成19年度浪江町介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第28号	平成19年度浪江町水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第29号	平成20年度浪江町一般会計予算	原案可決
議案第30号	平成20年度浪江町文化及びスポーツ振興育成事業特別会計予算	原案可決
議案第31号	平成20年度浪江町国民健康保険事業特別会計予算	原案可決
議案第32号	平成20年度浪江町国民健康保険直営診療施設事業特別会計予算	原案可決
議案第33号	平成20年度浪江町老人保健特別会計予算	原案可決
議案第34号	平成20年度浪江町工業団地造成事業特別会計予算	原案可決

議案番号	件名	摘要
議案第35号	平成20年度浪江町公共下水道事業特別会計予算	原案可決
議案第36号	平成20年度浪江町農業集落排水事業特別会計予算	原案可決
議案第37号	平成20年度浪江町介護保険事業特別会計予算	原案可決
議案第38号	平成20年度浪江町財産区管理事業特別会計予算	原案可決
議案第39号	平成20年度浪江町後期高齢者医療特別会計予算	否決
議案第40号	平成20年度浪江町水道事業会計予算	原案可決
議案第41号	委託契約の変更について(戸籍電算化委託事業)	原案可決
議案第42号	町長等の給与の特例に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第43号	副町長の選任について	同意
議案第44号	教育委員会委員の任命について	不同意
議案第45号	教育委員会委員の任命について	同意
議案第46号	津島財産区管理委員会委員の選任について	同意
発委第1号	議会議員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
発委第2号	浪江町議会議務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例	原案可決

一般質問



10 議員が質問

■ 橋爪光雄議員

- (1) 発達障害について
- (2) 医療支援について
- (3) 食の安全について
- (4) 防犯について

■ 佐々木英夫議員

- (1) 救急患者の受け入れ拒否について
- (2) TMOの現状について
- (3) 産学官構想として買収した用地について

■ 佐藤一男議員

- (1) 芸術、文化の振興策は
- (2) 観光振興の施策を何う
- (3) 浪江・小高原子力発電所の今後の取り組みは
- (4) 格差是正を当町としてはどのような対応策を考えているか
- (5) 活力ある農林水産業を目指して

■ 紺野榮重議員

- (1) 行財政改革の件
- (2) 町民と行政との関係の件
- (3) 活気あふれる地域づくりと安心の子育ての件

■ 佐々木茂議員

- (1) 共有林、共有地の現状と課税方法について
- (2) 必要な道路について及び進まぬ道路整備について
- (3) ぐるりんこタクシーの運用について
- (4) 養豚場の臭いの公害について

■ 田尻良作議員

- (1) 道路行政について
- (2) 農業政策について
- (3) 新エネルギービジョンについて

■ 泉田重章議員

- (1) 町の行・財政力について
- (2) 地域安全と青少年健全育成について

■ 佐藤文子議員

- (1) 筋力トレーニング事業の成果と今後の推移について
- (2) 23年度既存住宅への火災警報器の設置の義務づけについて
- (3) 男女共同参画社会づくりの進捗状況は

■ 小黒敬三議員

- (1) 住民サービスと情報公開と個人情報保護のベストミックス（調和）をどのように考えるか
- (2) 浪江町特産品協会の設立、支援事業を行い町産品を戦略的にブランド化してゆく考えは

■ 馬場績議員

- (1) 地方財政と町民生活への対応について
- (2) 食の安全と学校給食について
- (3) 農政の見直しと町の対応について
- (4) 児童の生活環境と対策について
- (5) 労働・雇用問題について
- (6) 後期高齢者医療制度について
- (7) 地デジ移行とファイバー事業について
- (8) 原発行政について

町政と問

このページには、質問した議員の質問事項が掲載されています。議会だよりに掲載する一般質問の内容は、紙面の構成上、1議員3件までの質問、答弁をそれぞれ550字以内に要約しておりますので、ご了承願います。



大平山：産学官構想予定地

質問 救急患者の受け入れ拒否はあるか。

子育て健康増進課長 浪江町内の傷病者の搬送状況について、平成19年中621件・632人を搬送している。受け入れ拒否については最終的には全員医療機関に受け入れています、ただ1回で受け入れは出来



佐々木英夫 議員

Q 産学官構想で買収した土地の利用は

A 工業団地・研究機関等を誘致したい

質問 町はTMOの株主という立場から全面的な協力にあるべきと思うが。

産業振興課長 商工会より一部委託を受けて、ぐるりんこタクシーの販売チケットの管理や、特産品販売として野馬追の絵皿・湯呑み等を販売しています。その他エアートランポリンの貸出し

なくとも、2・3回という方法で最終的に全員受け入れてもらっています。

質問 TMOの現状について。

産業振興課長 株主は47名、株主全体の活動は特にありません。平成19年度の決算は単年度分ではマイナスとなっております。

質問 産学官構想について、買収した土地と今後の進め方について。

企画調整課長 買収予定面積は約46万1千㎡、買収面積が約23万2千㎡と50・4%程買収したところで、金額として3億4千万円、工業団地として継承しつつ研究機関も誘致したいと考えています。

やイベント用のステージの貸出しと各町村の催し物にレンタルしています。

質問 産学官構想について、買収した土地と今後の進め方について。

企画調整課長 大学を含め新たな研究機関は難しいと思うが、特色ある研究機関・既存の専門学校、高等学校の充実を図るのも一つかと考えております。

質問 スタート時は考えられたが、今はそんな大学等来る時代ではないと思うが。

企画調整課長 大学を含め新たな研究機関は難しいと思うが、特色ある研究機関・既存の専門学校、高等学校の充実を図るのも一つかと考えております。

の際、学校内の一斉通報のために、スピーカー（拡声器）サイレン付を122台設置しました。



橋爪 光雄 議員

Q 発達障害の健診と対応は

A 健康診査を実施・早期発見に努めます

質問 発達障害を持つ子どもは、我が国では全体の5%程度、20人に1人とされている。早期に手当てすれば、症状はかなり改善される。発達障害の健診実態と対応は。

子育て・健康増進課長 1歳8カ月児、3歳6カ月児健診検査で、身体発育、運動機能など、小児科医、保健師による健康診査をしています。乳幼児健診で相談の内容により、臨床心理士、精神科の医師による乳幼児発達観察相談会や心理発達相談会を実施しています。

質問 中国製の冷凍食品事件を受けて、町の対応は。

町長 調査については、町には権限がありません。福島県相双保健福祉事務所の食品衛生監視員が食品衛生監視指導計画に基づいて検査を実施。町内の大

質問 世界で児童生徒の殺傷事件が多発している。学校の防犯体制・防犯の取り組みは。

教育総務課長 各学校では、年2回幼稚園も含め、不審者の侵入等があった場合の防犯訓練等を警察署や防犯協会の協力をいただき実施しています。平成18年度に、不審者の侵入等有事

の殺傷事件が多発している。学校の防犯体制・防犯の取り組みは。

教育総務課長 各学校では、年2回幼稚園も含め、不審者の侵入等があった場合の防犯訓練等を警察署や防犯協会の協力をいただき実施しています。平成18年度に、不審者の侵入等有事

不審者侵入防止柵の設置を（浪江中学校）





佐藤 一男 議員

Q 一流の田舎づくりを

A 首都圏の子ども体験学習受け入れ計画の作成など関係機関と協議する

芸術文化の振興を問う
質 国内の芸術作品展、あるいはコンクールにおいて大賞を受賞された方々を対象とした浪江町大賞受賞者芸術祭を開催してみたい。

生涯学習課長 大変貴重な提案であり、町の人々にも勇気を与えることと考えますので、今後の検討課題とします。

首都圏と田舎浪江の交流を図れ

質 問 二流の都市づくりよりも、田舎浪江をPRし首都圏との交流によって、企業の誘致や地産多消に努めよ。

企画調整課長 特産品振興交流、観光交流など、日常的交流の積み重ねを、町民・事業者・民間団体などと協働して取り組み、更に

は首都圏災害時に対しては、受け入れ先となるような態勢づくりを進めてまいります。

活力ある農林水産業を目指して

質 問
①農業・商業・工業の連携によって、地産地消効果を図る考えは。
②農業大学の設立に町として関心はあるか。

産業振興課長
①平成19年11月、農商工等

連携促進法としまして中小企業者と農林漁業者が連携し事業活動を促進する法案が出されております。商品の開発、生産・流通体制、販路拡大など、農家の所得向上、新規雇用創出に繋がることを考え努力します。

②農業を幅広い視野から考え、時代の進展に対応する判断力を養うことから、農業専門大学校への期待感は大きいものと考えます。



日本陶芸展大賞に輝いた若手陶芸家の作品



細野 榮重 議員

Q 町長報酬50%削減の根拠を問う

A 健全財政確立のもと、厳しい財政状況を町民の皆さんと共有したい

行財政改革の件をどのようにすすめるのか

質 問 厳しい財政状況を数値で説明を求めろ。

総務課長 平成18年度経常収支比率81.4%（指数は75%以下が妥当）実質公債費比率19.3%（18%以上が地方債発行に知事の許可が必要）

質 問 今後4年間の健全財政に向け、数値目標は。
総務課長 経常収支比率75%以下、実質公債費比率18%を目標とします。平成23年は概ね経常収支比率81.2%、実質公債費比率19.2%。

質 問 下水道工事の今後の進め方を問う。
上下水道課長 平成20年から21年度に幾内ポンプ場の改築工事、平成20年から22年度に浪江浄化センターの増築の予定です。

質 問 今後の町の負担

金（高速道路、114号線拡幅、広域圏負担金）はいくらか。

総務課長 平成22年度まで、常磐自動車道負担金2億5800万円、関連事業として2億2000万円、国道114号拡幅に約2750万円、双葉地方広域圏負担金は平成20年度6億700万円、クリーンセンター1双葉に対する負担金は平成31年度まで4億2800万円の予定です。

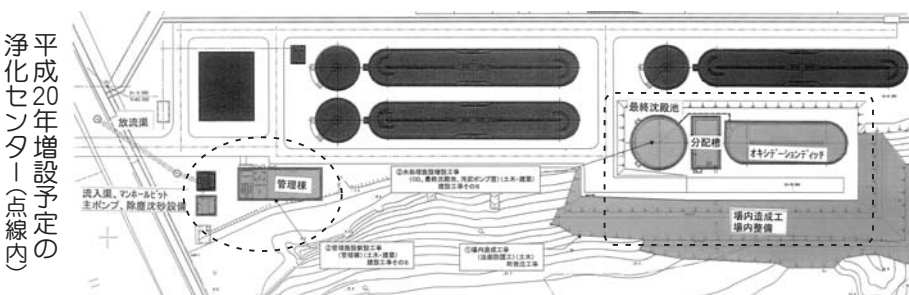
町民と行政との関係

質 問 国道114号拡幅改良工事の進捗状況について伺います。

建設課長 本線の北側500mの電線地中化をはじめとした工事が1月発注予定が国への事務手続きに日数を要したため3月末まで発注となります。

質 問 合併問題について伺います。

町長 合併は避けては通れないと思いますが、現在具体的には進んでいないという状況と認識しています。



平成20年増設予定の浄化センター（点線内）



使い易い運行を望む



佐々木 茂 議員

Q ぐるりんごタクシーを、苅野大堀地区は幾世橋ゾーンへ、請戸幾世橋は浪江駅ゾーンへ
A 時間配分を考えて使い勝手の良い運行形態に検討します

養豚場の臭いについて

質問 4回質問したが、依然として臭いがひどい。

今後の改善と悪臭防止法の適用は。

産業振興課長 施設の改善に取り組んでいると聞いている。

住民生活課長

悪臭について指導助言をしている。中々うまくいっていない。悪臭防止法の適用は今後検討したい。

道路整備の状況は

質問 小熊田宮田線藤橋工区の進捗は。

建設課長 本年度法線の決定、不便を掛けているが23年度完成を目標としている。

質問 浪江中入口佐野交差点及び進入路は。
建設課長 実地調査を行っている。必要箇所と認識しているので、今後予算が付けられるか検討したい。

質問 幾世橋・辻交差点の改良は。

建設課長 家屋移転等費用が多額となり、今後、県や公安委員会と交差点改良協議を行いたい。

質問 酒田地区の鉄道横断アンダーパスの改良の見通しは。

総務課長 永い間の懸案となっている。フル規格で計画すると相当の費用が掛

かる。町の財政状況が改善しない限り厳しい。

質問 現状の高さでの拡幅は。
総務課長 フル企画が望ましいが検討します。



田尻 良作 議員

Q いつまで待たせる道路の整備
A 現在85件の未処理、緊急性の高いところから順次道路整備の推進を図る

質問 行政区からの要望はどのように対応処理していますか。

町長 整備、修繕の要望については早急に現地確認をし、内容を十分検討をさせて、早く対応するように心がけて指導をしています。

建設課長 これまでの要望書の台帳一覧を作成し全箇所踏査しています。現時

点の未処理件数は85件です。緊急性のある箇所を優先的に順次整備していきます。

質問 「ガソリン税」が問題になっているが、浪江町への影響は。

建設課長 道路財源の暫定税率が廃止になれば約1億円の減収になり、町の道路整備に大きな影響が生じます。

質問 高速道路の進捗説明は。

建設課長 浪江工事は平成20年2月5日に発注され平成23年1月19日完成です。

米つくり農家の減反政策は限界だ

質問 浪江町では毎年100%以上の転作達成率

がある。これ以上の減反は無理ではないのか。

産業振興課長 農家を守る対策として水田を中心とする土地利用型農業において主食用の米以外の作物も生産できる形態育成を目指

す考えです。具体的には集落営農を推進しその中で問題の解決を図ります。

質問 農地水環境保全対策事業は適切な事業参加だったのか。

産業振興課長 5年間の期間でスタートして1年目ですが、いろいろな問題も浮上してきているのも事実で

す。今後そのような問題点を規定に沿った改正を図りながら問題の解決をします。

質問 サル、イノシシの被害状況と対策は。

産業振興課長 サルの被害は57万円、イノシシは109万円です。新年度は国からの補助金導入で檻などを購入して対策を図ります。

新エネルギービジョン

質問 具体的な事業は。

企画調整課長 太陽光発電（ソーラー）などへの補助金の助成です。



開通が待たれる高速道路



泉田 重章 議員

Q 今規制すべき子供携帯電話の利用法とは

A いじめも含め今後の青少年犯罪に大きな悪影響を与えます

携帯電話普及率が中学生で50%です。いじめやインターネット犯罪の温床で、視庁も悪影響を懸念して、子供用携帯電話の開発、利用上の制限「フィルタリング」に力を入れている。

質問 ネット犯罪で逮捕者もある。いじめへの実態と道徳の教育も含め、教育委員会は今後どう取り組んで行くのか。

教育長 小中学校でのいじめにも半数の6件があります。利用上のマナーが大切だと徹底指導し、チラシを配り携帯電話の危険性を訴えています。多くの親は理解していません。困っています。

安全安心のまち・地域安全条例への取り組みは

質問 防犯団体連合会や地域の方々の活動により、犯罪が激減している。

きめ細やかな安全活動に今後どう取り組んで行くのか。

住民生活課長 福島県でも取り組み中であり、町も条例制定市町村の活動を調査研究して検討します。

質問 高齢者の安全安心のため、医療環境が整った市街地での福祉の集約化が、財政的にも必要と思われるが考えは。

保健福祉課長 平成20年度に介護保険事業計画、高齢者保健福祉計画策定の中でアンケート等で意向調査をします。

結論：親子でのコミュニケーションが大切

- 「だめ!だめ!」...では、もうダメ
- 保護者自身が学習 子供を教育
- 子供とインターネット利用について話し合う
- インターネット利用の基本ルールを作る
- インターネット社会にも「実社会」と同じルールがある
- アクセス規制・フィルタリング・セキュリティ対策ソフトウェアの導入
- PC、居間に置く。携帯は???

町の企業誘致に必要な条件は

質問 「表面上の補助金で釣られる企業はいない。」企業の進出要因とセー

ルスポイントは。

町長 物流のインフラであり、土地整備です。水・電気の安価供給、温暖な気候があり、土地の人柄が求められます。原子力関連の企業も含めトップセールスで営業します。ゆかりの方々の紹介を願います。



佐藤 文子 議員

Q 筋力トレーニング事業の民間委託の内容は

A 事業の充実を図るため専門知識を有する民間に委託を

高齢者がいきいきと暮らせる町を

質問 民間委託で今以上の成果は期待できるのか。

子育て・健康増進課長 ワンクール3ヶ月を4回と、フオーロー教室9ヶ月の実施で充実を図る予定です。

質問 現在のしらうめ荘は場所として適正か。

子育て・健康増進課長 町中心部から近くeーまちタクシーの利用もできるため利便性が良いと考えています。

質問 勤務していたインストラクターの処遇は。

子育て・健康増進課長 事業内容が変わり勤務体制が時給扱いになるため、年度内で終わることになります。

平成23年度から住宅用火災警報器の義務づけが始まる

質問 高齢者独居の家屋に住宅用火災警報器の設置増進のため、補助制度の考えはないか。

住民生活課長 高齢者一人暮らしや、寝たきり高齢者世帯には設置の指導を各関係機関と連携して、広報誌や防災無線等で啓蒙活動をしているところです。

質問 しらうめ荘の警報機の設置は。

総務課長 現在の設備基準で消防法上クリアしています。(義務づけはまだです。)

男らしく、女らしくではなく、人間らしく生きるために

質問 男女共同参画プランなみえの進捗状況は。

また、各審議会等の女性の登用は。

企画調整課長 平成26年まで8年間を前期後期に分けて、行動計画を具体的な事業としていく計画です。今後も登用率30%に向けて女性の委員を選任できるように公募制を積極的に導入していきます。

町長 少子化の進行、ライフスタイルの価値観の多様化など社会環境が急速に変化しているなか、共同社会の実現は重要と考えています。



メタボ予防にもなっているかもよ。筋トレの効果を生かして。



小黒 敬三 議員

Q 役場窓口の利便性の向上を

A 可能な限り対応します

町民の自主的活動で活力ある浪江町をつくるため、文化・スポーツ団体、ボランティア・サークル団体、公共機関及び施設、公人、民間活動団体などの一覧表と問い合わせ先が、どこの役場窓口でもすぐに町民の問いに答えられるようになって

質問

①現在どこまで公表されているか。

②わかりやすくなっているか。

③今後のあり方は。

総務課長

①担当課等で、回答できる範囲内で答えています。公共機関、施設等はホームページ、公人、民

間団体は公表してませんが、担当課の判断で対応しています。

②各情報の所管が異なるため、一覧表がなく、分り易いとは言えません。

③本人、団体の了解のもと、印刷物や町ホームページで紹介するなど今後検討し、可能な限り対応します。

特産品協会を設立し町産品をブランド化

町産品をブランド化

町のブランドを出すためには、単品、単独の団体ではなく、目的のはっきりした団体を作る必要があるが、設立支援の考えは。

質問

①この制度は75歳以上になると保険の扶養家族に入れない、なぜか。

産業振興課長

J A、漁協を含めた生産団体や販売団体の組織化が必要です。組織づくりのためのセミナーが増えるものと考えます。③差別医療とは考えておりません。



存続が望まれる浪江職安



馬場 績 議員

A Q ハローワーク浪江、廃止計画の撤回を求めよ 職業相談室を開設し五年間は町と共同運営

相談を続ける予定です。

質問

①この制度は75歳以上になると保険の扶養家族に入れない、なぜか。

②2年毎の見直しで自動的に保険料が上がる、保険料の推移は。

75歳以上の診療は、外来・入院、在宅、終末期のすべてで、それ以下の人と差別医療になるのではないか、制度の中止を求めていくべき。

保険福祉課長

①国民皆保険を持続するための施策です。

②後期高齢者の保険料負担

地デジ移行・光ファイバー事業の対応は

2011年7月24日に前面移行となる地デジ移行でテレビ難民が心配される、対応は。

質問

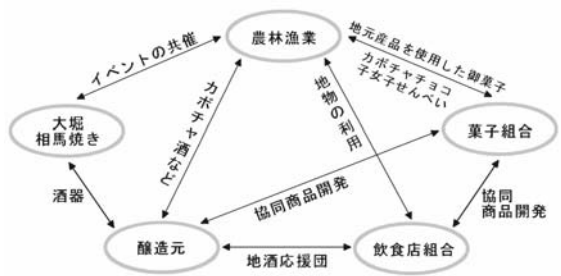
その時点で視聴困難世帯に関して、現状把握の情報提供を行います。

光ファイバー事業の整備が急がれる。全体

企画調整課長

国・県の補助を組み合わせても約1億円かかる。投資とその効果、加入アンケート、津島と町内一斉に整備するか、研究中です。

イメージ図



団体・組合の垣根を越えた各融合

県内警察署再編に関し

浪江警察署存続の決議を
全会一致で採択

警察署再編に関する基本構想

警察署再編の基本構想



福島県警察本部は、2年後の平成22年4月を目標に、5地域を対象として、県内28警察署を22署に統廃合する『警察署再編に関する基本構想』を3月24日に新聞発表をしました。

その対象地域の中に、浪江署と富岡署を再編し、双葉郡内2署体制から1署に再編する案が含まれております。

議会の対応

『警察署再編に関する基本構想』

県警は、今後該当する警察署がある自治体や地域住民、議会、関係機関・団体の意見を踏まえて7月頃までに、再編対象警察署の絞り込みや再編手法など具体的内容を公表する方針です。

決議

福島県警察本部は「警察署再編に関する基本構想」を決定し、去る3月24日に突如発表された。

もとより、警察活動は地域の安全・安心の拠点であり、既存の警察署の存廃は住民生活に重大な影響を及ぼすものである。

然るに「基本構想」によれば、浪江・富岡2署を1署にするというものである。

浪江町は相双地方の中心都市の一つであり、当議会は2署を1署にする基本構想に反対し再編方針を断固容認するわけにはいきません。

浪江警察署の管轄は、現在郡内人口の4割強を占め、かつ、双葉地方は原発立地集中地帯でもあり、在住人口の多様性にも鑑み、浪江警察署の存続を強く求めるものである。

以上決議する。

平成20年3月25日

福島県知事
福島県警察本部長
福島県議会議長
福島県議会各会派

あて

福島県双葉郡浪江町議会

が公表されたのを受け、3月25日開催の臨時議会中に全員協議会を開催し、問題点を整理しました。

①生活圏、経済圏の変化によって、犯罪の量的拡大と広域化・巧妙化・組織化等の質的变化・交通事故多発等極めて憂慮すべき状況にあります。

②「面積が広く、可住地面積比率が低い」地域の治安のあり方が

求められています。

③警察署の位置、管轄区域、広域化、スピード化等の著しい治安情勢の変化に対する初動体制や夜間体制の問題等々。

これを受け、同日開催の臨時議会で浪江署と富岡署を再編し、双葉郡内2署体制から1署に再編する案は、問題点が多く、町民が「安全」で「安心」して暮らせる地域社会を構築するものではないため、浪江署存続の決議を全会一致で採択し、福島県知事等の関係機関へ送付した。

追跡 どうなった？あの質問

一般質問は議員に与えられている重要な権限の一つです。今回「一般質問のその後」として、一般質問の提言などが町政にどのように反映されているのかお知らせします。

◆県内市町村の合併状況

- 平成 16 年 4 月 1 日現在、90 市町村（10 市・52 町・28 村）
- 平成 17 年 4 月 1 日現在、83 市町村（11 市・47 町・25 村）
- 平成 19 年 1 月 1 日現在、60 市町村（13 市・32 町・15 村）

◆県内の市町村合併状況

福島県市町村行政区域図

地域	市	町	村	計60
県北	4	4	1	9
県中	3	6	3	12
県南	1	4	4	9
会津	2	8	3	13
南会津	0	3	1	4
相双	2	7	3	12
いわき	1	0	0	1



今後の市町村合併予定

新市町村名	構成市町村	合併期日
福島市	福島市、飯野町	20. 7. 1

平成19年9月現在

◆合併した市町村

市町村	合併前市町村	合併日	人口
会津若松市	会津若松市・北会津村	H 16.11.1	129,490
田村市	滝根町・大越町・都路村・常葉町・船引町	H 17.3.1	42,411
須賀川市	須賀川市・長沼町・岩瀬村	H 17.4.1	80,256
会津美里町	会津高田町・会津本郷町・新鶴村	H 17.10.1	24,062
会津若松市	会津若松市・河東町	H 17.11.1	129,490
白河市	白河市・表郷村・東村・大信村	H 17.11.7	65,629
二本松市	二本松市・安達町・岩代町・東和町	H 17.12.1	61,957
南相馬市	原町市・鹿島町・小高町	H 18.1.1	71,883
伊達市	伊達町・梁川町・保原町・月舘町・霊山町	H 18.1.1	67,665
喜多方市	喜多方市・熱塩加納村・塩川町・山都町・高郷村	H 18.1.4	54,876
南会津町	田島町・館岩村・伊南村・南郷村	H 18.3.20	19,182
本宮市	本宮町・白沢村	H 19.1.1	31,689

人口は平成 19 年 7 月 31 日現在

※合併に対しての町長の方針
合併は避けては通れないと思いますが、現在具体的には進んでいないという状況です。

委員会活動報告

コスモス保育園に 保健師等の配置を要望

文教・厚生常任委員会では、次の要望を取りまとめ議長に報告し、町に要望を求めました。

コスモス保育園は、町内唯一のゼロ歳児からの保育園として、働く若いお母さんにとって心強い支えとなっておりますが、医療の専門職は配置されておりません。

コスモス保育園には、150人以上の乳幼児が入園しており、入園児の心身の状態に応じた安全安心な保育を行うため、保健師等の常時在園が必要であるとの意見をとりまとめました。



望まれる保健師配置

議会活動の近況

2月

15日	広域圏・保健衛生常任委員会
19日	広域圏・消防厚生常任委員会
22日	広域圏・総務常任委員会
25日	広域圏・議会運営委員会
26日	県議長会定期総会
28日	広域圏・定例議会
29日	議会運営委員会
29日	産業・建設常任委員会
29日	文教・厚生常任委員会

3月

3日	全員協議会
6～19日	第1回定例議会
25日	全員協議会
25日	第2回臨時議会

4月

4日	双葉地方町村議会議長会
15日	議会報編集特別委員会
22日	議会報編集特別委員会

表紙用 写真募集



「なみえ議会だより」の表紙に掲載する写真を募集します。

◆資格

町内在住、町内に通勤・通学の個人。

◆テーマ

町の話題・躍動感(人物)と季節感あるもの。

◆掲載

編集委員会で選定。

◆期日

年4回。

4・7・10・1月の5日

締切。

(発行は、5・8・11・2月の1日です。)

◆問い合わせ

議会事務局

☎0240-34-0254

傍聴人インタビュー



3月議会傍聴人：延べ人数31人
気軽に傍聴してください。

議員は積極的に ボランティア活動に参加を



吉田 忠一さん
(小野田)

1 傍聴のきっかけは？

元々議会は好きだし、各議員の発言を直に聞きたいから。

又、ミニ集会等を開き町民の声を聞いて欲しい。

2 傍聴された感想はどうでしたか？

一部質問、意見等に真剣味が足りない様な気がする。傍聴者が少ないのも気がかりです。もっと議会のPRを。

4 議会や町政に対する要望がありますか？

財政（議員定数削減問題も含む）、原発、町村合併等に大きな問題が山積しています。町として方向を出し、議会も含めて世論を喚起すべき時期ではないでしょうか。

3 議員に対する要望がありますか？

議員はボランティア活動等に積極的に参加をし、まちづくり美化運動の先頭に立って欲しい。

編集後記



「桃季成蹊」

桃やすももの花がきれいなので、それを見に来る人が集まってくるとおのずと蹊（ちき）ができるたえです。今年の花見の桜は、ボランティアの皆さんの活躍で大変素晴らしいものでした。町議会議員も切磋琢磨し、己の研鑽に努め町民の皆さんから信頼される存在になるようにならなければなりません。

3月定例議会は、町のお金の使い方を決める重要な議会であり、議会報も更に町民の皆様にはわかりやすい紙面づくりに心がけてまいります。ますますご愛読いただきますよう、お願い致します。

(記・横山 精一)

議長 山本 幸男
委員 長 小黒 敬三
副委員長 泉田 重章
委員 佐藤 一男
委員 横山 精一
委員 渡邊 文星
委員 紺野 榮重

120号
表紙より

請戸消防屯所の
落成を祝って

表紙用写真を募集

町の話題・人物・季節感のあるもの。
ぜひ、お寄せください。

みなさまの声をお聞かせ下さい。

編集委員会では、議会に対する町民の声を議会だよりに掲載したいと考えております。議会傍聴時の感想等なんでも結構ですでお声をお寄せ下さい。